

通し番号	4865
------	------

分類番号	29-4B-12-04
------	-------------

強い枝垂れ性の樹姿を特徴とするヤボンノキの雄系統（No. 3）を育成しました

[要約] ヤボンノキの選抜系統 No. 3 は雄株であり従来の雄にはない強い枝垂れ性を持つ。既存の雌の枝垂れ性品種 ‘Pendula’ より強い枝垂れ性を示す特徴的な樹姿で観賞性が高い。樹姿が同様なため ‘Pendula’ と混植することができ、同時期に開花し、花は雄花であることから受粉樹としても利用可能である。

神奈川農業技術センター・生産技術部

連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

ヤボンノキ (*Ilex vomitoria*) ‘Pendula’ は枝垂れ性樹形の常緑高木で小葉が密に着き枝がやや白く、小さな赤い実がなり観賞性が高い雌品種である。ヤボンノキは雌雄異株のため着果には雄を必要とするが、現在、並列して植栽できる枝垂れ性樹形の雄が無く、普及が進んでいない。そこで、枝垂れ性ヤボンノキの利用拡大を図るため枝垂れ性樹形の雄品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 No. 3 は平成 15 年に播種したヤボンノキの ‘Pendula’ の自然交雑実生から選抜した個体である。
- 2 No. 3 は枝垂れ性雌の ‘Pendula’ 及び開帳性普通樹形の雄系統と比較して、枝先と主幹との角度がより鋭角な強枝垂れ性を示す（図1から3）。
- 3 No. 3 の節間長は ‘Pendula’ 及び普通樹形雄系統と比較して短く、葉身長は ‘Pendula’ より短く、普通樹形雄系統と同程度、葉身幅は普通樹形雄系統より狭い（表1）。
- 4 No. 3 の開花開始は5月上旬で、開花期間は1～2週間程度である（表2）。
- 5 花は、花弁数は4枚、花色は白、雄ずい4本と黄色の葯をもつ雄花であり、花の形態は、普通樹形雄系統と同じである（表2）。
- 6 1花房あたりの花数は約10個で ‘Pendula’ より多く、普通樹形雄系統より少ない（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 品種登録出願を予定している。
- 2 枝垂れ性の既存雌品種 ‘Pendula’ の受粉樹として組み合わせて流通させることにより、ヤボンノキの利用場面の拡大が期待される。
- 3 特徴的な樹姿を示す新たなシンボルツリーとして市場に提案できる。

[具体的データ]



図1 No. 3



図2 'Pendula'



図3 普通樹形雄系統

表1 No. 3の枝葉の特性

品種・系統名	樹形	節間長(mm)	葉身長(mm)	葉身幅(mm)
No. 3	強枝垂れ性	4.9	17.5	8.0
Pendula	枝垂れ性	7.9	20.9	8.9
普通樹形雄系統	開帳性	7.4	17.7	10.2

表2 No. 3の開花期間及び花の特性

品種・系統名	開花期間	花弁数	花色	1花房の花数	雌ずい	柱頭の色	雄ずい	葯の色
No. 3	5月上～中旬	4枚	白	9.8個	-	-	4本	黄
Pendula	5月上～中旬	4枚	白	3.3個	1本	緑	-	-
普通樹形雄系統	5月上～中旬	4枚	白	14.3個	-	-	4本	黄

[資料名] 平成29年度試験研究成績書 花き・観賞樹
 [研究課題名] 花き・観賞樹の新品種育成 枝垂れ性ヤポンの新品種育成
 [研究期間] 平成15～29年度
 [研究者担当名] 佐藤惟、相原朋之、原靖英
 [協力・分担関係] なし